

ざっ草のさい生研究

御船町立木倉小学校 4年 坂本 実優

1 研究の目的

5月の運動会の前に、朝から運動場の草取りをした。でも草は、また生えてきた。8月に朝から父親が、庭の草刈りをしていて、その様子を見ていて、庭の雑草はどれぐらいの期間で、どれぐらい再生するのか不思議に思ったので研究することにした。

2 研究の方法

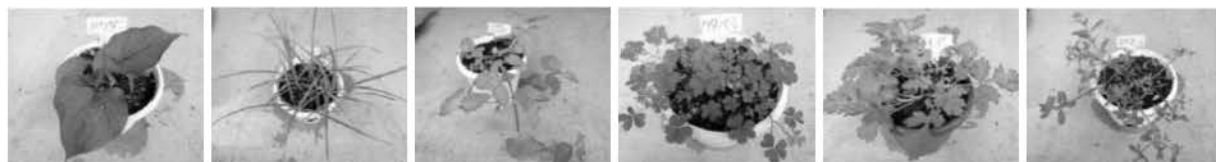
- (1) 雑草を根から掘って、コブシ、ドクダミ、ヨモギ、カタバミ、ムラサキツユクサ、スベリヒユの6種類をそろえる。
- (2) 根をきれいに水で洗い、土を落とす。
- (3) ハイドロカルチャーを水につけて、ふくらます。
- (4) 透明のコップに透明のハイドロカルチャーを入れて、6種類の雑草を植えてつける。
- (5) 毎日成長の様子を観察し、記録する。

3 研究の結果

- (1) 8月26日（植えてから11日目）の雑草の再生状況

コブシは再生していた。しかし、ドクダミやヨモギ、カタバミが枯れかけていた。多分、ハイドロカルチャーを使って育てたので、雑草が水を吸収し過ぎて根ぐされを起こしたのだろう。そこで今度は、同じ大きさの鉢に同じ量の土を入れて、根から掘った新しい雑草を植えて研究を続けた。

- (2) 9月30日（研究最後の日）の雑草の再生状況



(ドクダミ) (コブシ) (ツユクサ) (カタバミ) (ヨモギ) (スベリヒユ)

コブシは、草丈が25cm程に伸びた。1株に葉が8枚ほどついていた。植えた時は、1株だったが、最後は8株になった。草を刈り取ったために株数が増えてしまった。

ドクダミは、草丈が10cm程になった。葉が8枚になり、1枚1枚が大きくなった。ハイドロカルチャーで育てた時は、根ぐされを起こして枯れてしまったが、丈夫に育った。

ヨモギは、草丈が10cm程になった。四方に茎が伸び、葉が大きく青々としていた。初めは1株だったが、最後は3株に増えた。

カタバミは、草丈が15cm程になった。葉の数は数えきれないほどに増えた。黄色い花が咲いて、実がついていた。種が飛んでいっぱい増えそうだった。

ムラサキツユクサは、草丈が25cm程になった。紫色の花が咲いていた。葉が40枚ほどに増えて、元気に育っていた。茎が太く丈夫に育っていた。

スベリヒユは、草丈が20cm程になった。茎も葉も大きくなり、つぼみがいっぱいついていた。初め1株だったが、最後は4株に増えた。

自分の予想通りの結果ではなかったが、どの雑草も元通りに再生した。雑草は刈り取っただけでは再生すると分かった。雑草は、根から抜き取ることが大事であると分かった。